

世界の恵まれない子供達のためのCharity

HANDEL

Messiah

ヘンデル メサイア

2020東京オリンピックの成功を共に願うコンサート



Soprano Sooyeon Kim



Alto Naoko Togawa



Bailey Shiho Kitahara



Tenor John Lee



Baritone Kyuwon Han



ABC-Tokyo バレエ団



Conductor Makoto Hoshino

Tokyo Simon Philharmonic Orchestra

Tokyo Simon Chorus

Seoul Simon Chorus

Nezu Chorus

2020 04.18 [土]

13:00 開場 14:00 開演

SS席5,000円 S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円

東京芸術劇場コンサート大ホール

Tokyo Metropolitan Theatre

主催：東京シモンコーラス

後援：日本クリスチャン音楽大学、イエスの友会、キリスト新聞社、

NPO 法人 World Youth Orchestra協会、2020 World Mission Japan

チケット取り扱い

・東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

・チケットぴあ 0570-02-9999 - Pコード：175273

・東京シモンコーラス事務局 03-3351-6004

・サンパウロ東京宣教センター 03-3357-8642



Makoto Hoshino

音楽監督・指揮 星野 誠

指揮を佐藤功太郎、三石精一に、作曲を嵯峨富美子、池野成、伊福部昭、野田暉行に、ピアノを宮原節子、佐藤ルリの各氏に師事。東京音楽大学大学院作曲科、東京芸術大学大学院作曲科、東京芸術大学大学院指揮科修士課程修了。Doctor of Christian Music, Bernadean University(USA)。東京芸術劇場大ホールにて日本フィルハーモニー交響楽団を指揮し好評を博す。同コンサートをCDに収録。同ホールにて東京フィルハーモニー交響楽団を指揮。日本女子大学オーケストラ等、大学オーケストラを指揮。MESSIAHをはじめとする宗教音楽、また、オペラではMozart THE MARRIAGE OF FIGARO (Le Nozze di Figaro)、Pietro Mascagni CAVALLERIA RUSTICANA等を指揮。1992年より教会音楽に専念。近年では、恵まれない国の子供たちへの支援や音楽指導にも力を注ぎ、ヨーロッパではウィーン楽友協会ホール公演、また韓国をはじめとするアジア全域、アメリカではN.Y カーネギーホールで公演を成功させるなど日本のみならず世界で活躍。東京信愛教会の音楽監督、根津合唱団指揮者。東京シモンフィルハーモニーオーケストラ、東京シモンコーラス、ソウルシモンコーラス音楽監督・常任指揮者。韓国Well-watered Gardenジュニアオーケストラ、東京アマデウスジュニアオーケストラ、NPO法人ワールドユースオーケストラ協会音楽監督・常任指揮者。日本クリスチャン音楽大学学長。



Sooyeon Kim

Soprano スヨン・キム

ジュリアード音楽大学卒業。インディアナ音楽大学院修了。ソウル市立オペラ団オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」、「ラ・トラヴィアータ」、「ドン・ジョヴァンニ」の主演。ニューヨーク・リンカーンセンター Alice Tully Hall リサイタルデビュー。ニューヨークメトロポリタンオペラ・ジュリアード共同制作オペラ「アールミッド」出演。ジュリアードオペラシアターでモーツァルトのオペラ「偽の女教師」主演。P.Q.Phanのオペラ「The Tale of Lady Thi Kinh」で世界初演公演の主演。チェコのプラハスメタナホールでオルムツフィルハーモニー管弦楽団と共演。韓国芸術劇場殿堂コンサートホールでソウル・フィルハーモニー創立23周年定期演奏会共演。テノールヨナス・カウフマンとブラハ放送交響楽団と共演。2014年10月米国インディアナ州オペラ団オペラ「ラ・ボエーム」ミミ役で出演。2015年4月スペインOpera House Palacio オペラ「Suor Angelica」主演出演。2015年5月、東京サントリーホール「メサイヤ」ソプラノソリスト出演。2015年6月テノール Ramon Vargasとハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、合唱団と共演するヴェルディのオペラガラコンサートヨーロッパツアー出演。



Naoko Togawa

Alto 登川 直穂子

国立音楽大学、東京芸術大学、第48期二期会研修所に学ぶ。「魔笛」でオペラデビュー。ヨーロッパでのコンサートデビューは、ミュンヘンとブラハ。新聞で「日本人離れしたイタリア的な響き」と紹介される。2006年より10年ローマ在住。ローマを拠点に、ロンドン、ウィーン、ベルリン、モスクワ、ブダペストなどのヨーロッパの各都市で演奏活動。2009年ローマでのリサイタルが成功、新聞4社で、「鶯」「凱旋勝利」などの記事が出る。2010年11月、ローマで「蝶々夫人」3回主演、ローマとミラノの新聞11社で絶賛。2011年12月イタリア軍主催のリサイタル以降、毎年、イースターリサイタルが続いた。2015年9月、東京芸術劇場での「蝶々夫人ハイライト」2000満席公演。近年は、オペラ彩「ラ・ボエーム」「トゥーランドット」に出演した。



Johan Lee

Tenor ヨハン・イ

ソウル大学・音楽大学声楽科卒業。イタリアFrosinone「L.Refice」国立音楽院主席卒業。イタリア「Carlo Bergonzi」アカデミー卒業。第8回「Giuseppe Di Stefano」国際声楽コンクール優勝。「Torneo Internazionale di Musica」国際コンクール入賞。イタリア「Ten Tenors Concert」第1回Giuseppe Di Stefano追悼音楽会参加。Stefano Romani指揮でVenetoフィルハーモニーと共演。(Italy Treviso 市Piazza Giuseppe Di Stefano) 幕張メッセにて東京フィルハーモニーと「アジアの3大テノール」公演。現在多数のオペラ主演(II Trovatore, Rigoletto, Madama Butterfly, Tosca等)及びソロ演奏等ヨーロッパ東側諸国の劇場にてオーケストラと共演する等、the Music所属の専門演奏家として活動中。



Kyu Won Han

Bass ギュウォン・ハン

ソウル出身。マンハッタン音楽院で学士号、修士号を取得。ベルヴェデーレ国際音楽院コンクール、マリオ・ランツァ・コンクール、オラトリオ協会コンクールなど多くの受賞歴を持つ。サンフランシスコ・オペラのアドラー・フェローシッププログラムに選ばれ、1999年サンフランシスコ歌劇場「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、マゼット役でオペラデビュー。以降、ホルダー歌劇場、韓国国立オペラ、オペラ・アイダホなど世界各地で幅広く活躍。日本では佐渡裕指揮・兵庫芸術センター管弦楽団、アルミンク指揮・新日本フィルハーモニー交響楽団、広上淳一指揮・京都市交響楽団、現田茂夫指揮・札幌交響楽団等と共演を重ねている。2004年シーズンより佐渡裕総監督のもと毎年12月に大阪城ホールで開催される「サントリー1万人の第九」コンサートにソリストとして、13年間出演している。エイベックス・クラシックよりCD「Questo Amor-この愛を」をリリース。



Shiho Kitahara

Bailey 北原 志穂

1992年 小島章司氏に師事。同氏の数々の公演に群舞、ソロ出演。2001年 渡西。ファミリア・ファルーコに師事。2005年 帰国。他ジャンルのアーティストとも国内外で共演。2008年 スペイン・サラゴサ国際万博博覧会「小松原庸子スペイン舞踊団公演」出演。2010年 韓国ソウル「金星公演」ゲスト出演。2017年「姜春東指揮シモンオーケストラ NYカーネギーホール公演」ゲスト出演。2018年 タブラオ・ガルロチ主催スペシャル・ライブにてエル・バルージョと6年振りの共演。現在東京、埼玉にてクラス開講、後進の指導にも力を入れている。〈主な受賞歴〉1996年 日本フラメンコ協会「新人奨励賞」最年少受賞。98年、99年同賞受賞。2005年「韓国文化交流協会感謝賞、新聞社賞、国会議員賞」他受賞。2006年 現代舞踊協会「河上鈴子スペイン舞踊新人賞」受賞。2007年「第4回CAFフラメンコ・コンクール」優勝。